

浜岡原子力発電所 中央制御室換気空調系ダクトの点検調査について

2017年2月15日

当社は、中国電力島根原子力発電所2号機において中央制御室換気空調系(注1)ダクトに腐食孔が確認されたこと(注2)を踏まえ、浜岡原子力発電所3~5号機の中央制御室換気空調系ダクトを保温材を剥がして目視により点検調査することとしました。

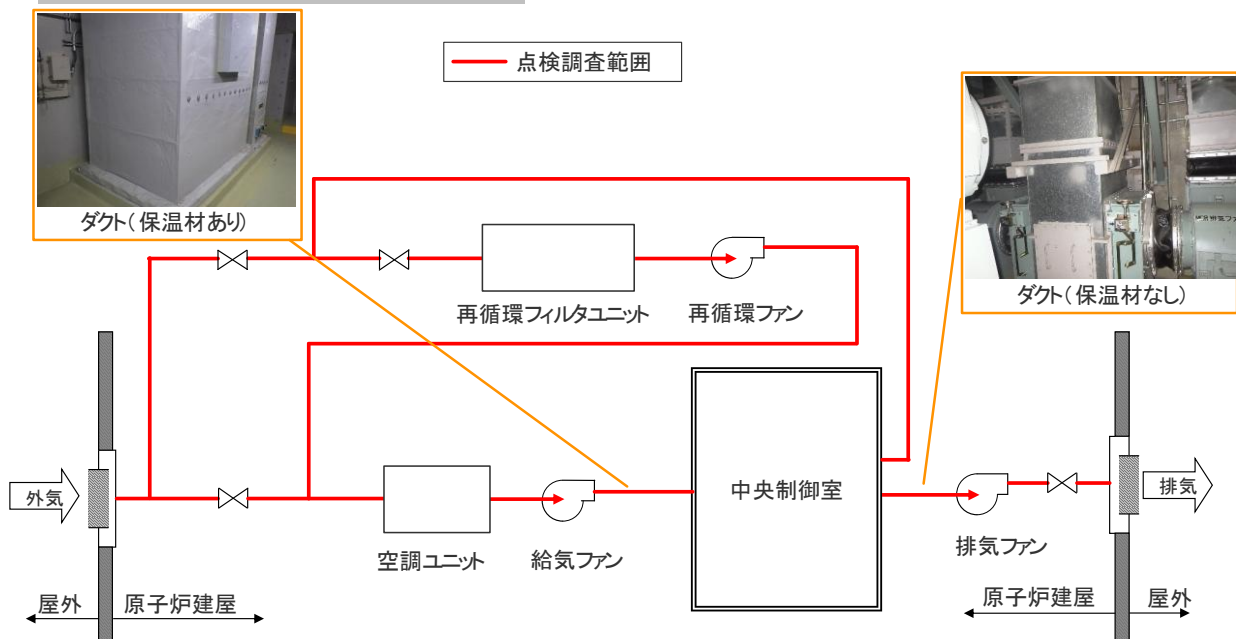
点検調査結果については、今後、まとまり次第お知らせします。

なお、中国電力の事象を踏まえ、原子力規制庁から口頭で中央制御室換気空調系ダクトを点検調査するよう求められています。

注1 中央制御室換気空調系とは、発電所の運転・監視をおこなう中央制御室の給排気を調整する系統のこと。通常時は外気を取り入れて中央制御室を換気するが、事故時には運転員が中央制御室に留まる事ができるよう、外気を取り入れを遮断し、再循環フィルタユニットを介して内部循環させ運転員の被ばく量を低減させる機能が求められます。

注2 島根原子力発電所2号機では、中央制御室換気空調系ダクトの寸法測定のために保温材を剥がしたところ約100cm×約30cmの腐食孔が見つかるなどしています。

点検調査範囲(4号機の例 イメージ図)



点検調査スケジュール

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
3号機			点検調査					
4号機		点検調査						
5号機					点検調査			

以上